

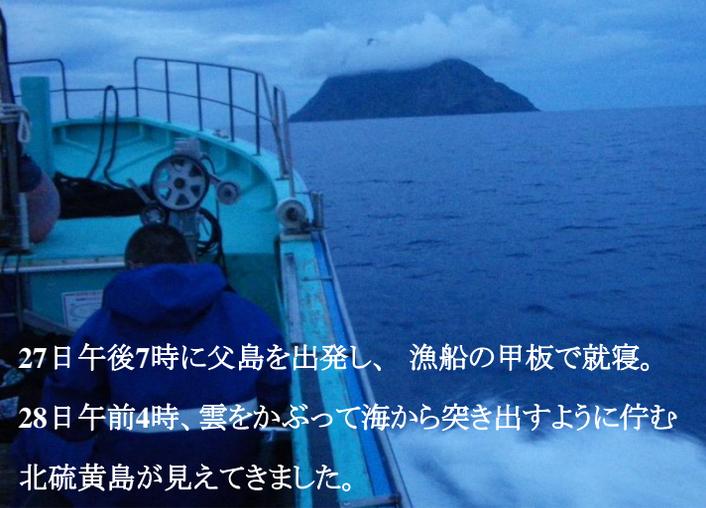


都レンジャー NEWS

小笠原 母島版
Vol. 8
2010. 9発行

平成22年 北硫黄島調査

6月28日～6月30日の2泊3日の日程で東京都による北硫黄島の調査が実施されました。東京都自然保護員も母島父島より、各1名ずつが参加しました。
今回の調査では、地形景観、自然公園法許可、自然環境、植物、国家基準点についての調査が行われました。



27日午後7時に父島を出発し、漁船の甲板で就寝。

28日午前4時、雲をかぶって海から突き出すように佇む北硫黄島が見えてきました。

山岳部中心の山班と海岸部周辺の海班に分かれて調査を実施しました。山岳部では主に希少植物の調査が行われました。海岸部においては、主に外来植物の分布確認、海鳥類の営巣状況等の調査が行われました。



山岳部の調査で開花が確認された
ホザキランの仲間



海岸部の調査で確認された
アカオネツタイチョウ



ホソバヤロード

硫黄列島の固有種

海岸周辺の林内にて開花を確認しました



エダウチヘゴ

硫黄列島固有の木性シダ

2～3回も枝分かれする珍しいヘゴです



イオウノボタン

ノボタンは父・母・硫黄列島にそれぞれあり

白色、桃色、紫色と花の色が違います

硫黄列島の植物

★ 都レンジャーNEWSはHPでもご覧になれます！ ⇒ URL <http://www.soumu.metro.tokyo.jp/07ogasawara/55ranger/home.htm> ★

調査を終えて

私は限られた時間の中で、北硫黄島の「今」を少しでも多く記録に残そうと思いました。
そのため、カメラ2台・双眼鏡GPSを抱えてメモを取り、時には走りながらの調査になりました。

調査初日に誕生日を迎えた私ですが、上陸が難航し、1日があつという間に終わりました。

2日目は、早朝から島を1周する調査。海岸部は日陰が少なく炎天下の中、熱せられた玉石の上や岩場を延々歩き続けるため調査は非常に過酷なものでした。

夕方やつとキャンプ地に戻るととてもきれいな夕焼けが、私を待っていてくれました。



(東京都自然保護員 母島担当 川口 大朗)

「都レンジャーは、次の企業にご協力いただいています。キヤノン・フェニックス・丸紅フットウェア・モンベル (アイエオ順)」